

むくのきだより



3月号

平成28年3月1日

港区立赤羽幼稚園長 小鹿原 賢

緑いっぱいの幼稚園からの巣立ちと成長

園長 小鹿原 賢

3月に入り、寒さはしだいに緩み、園庭にある木々のつぼみが膨らみはじめました。1年・2年前の4月の子どもの姿から、成長した姿を見ることができ嬉しく思います。

子どもたちは、様々な園行事だけでなく、友達との遊びや生活経験・自然体験から「かわり」や「人やものへの思いやる心」「活動することが楽しい・嬉しい」「できた喜び」など多くの感性を身に付けました。

玄関前での「おはようございます」と「握手」

子どもたちとする朝のあいさつと握手を、園長としての私の日課としました。それは、子どもにあいさつを身に付けてほしい・あいさつで気持ちの良い一日でスタートすることを体感して欲しいという願いから始めました。今では、「元気です。」「よろしくお願いします。」「などの言葉を添えたり目と目を合わせてあいさつしたりして、凛々しく感じることもさえあります。

保護者の皆様とも一緒にあいさつができ嬉しく思いました。さくら組さんは、このあいさつが来年度さらに良くなるように、そして、ゆり組さんは、小学校でも「さすが赤羽幼稚園の子だね。」と言われるように、元気の良いあいさつを続けて欲しいと思います。

赤羽幼稚園ならではの剣道教室

剣道を通して、子どもたちが礼儀正しく、姿勢の良い、元気な子どもになってほしいという願いの下、9回の剣道教室を実施しました。今では、私が遊戯室に行くまで、正座して待つことができるようになりました。「手を床に着かないで、正座するんだよね」とかっこ良い姿が見られるようになりました。相手と一定の距離を保つ「間合い」も勉強し、「並ぶときに前の人の体に触れない」や「混雑しているときは、空いている場所に移動する」などに生かしています。習慣として身に付くまでていねいに指導していきます。最後の剣道教室のとき、本物の竹刀を持ちました。真剣さが増し、良い素振りができました。やはり、本物に触れる教育は大切であると改めて感じました。

このように、赤羽幼稚園の子どもたちは、大きく成長しました。

間もなく修了式・終業式です。赤羽幼稚園で身に付けたことを、自信をもって小学校でもゆり組でも発揮し、輝いて欲しいと思います。

この一年間赤羽幼稚園の教育に対しましてご理解とご協力をいただきました。

ありがとうございました。

